

済生会山口総合病院 外来医師担当表

平成30年1月20日現在 **《受付時間…午前8時30分～11時》※予約の場合を除く**

診療科名		月	火	水	木	金
内科 083-901-6102 ※呼吸器内科、完全紹介予約制	循環器	小野史朗 (循環器内科)	小野史朗 (循環器内科)	小野史朗 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)
		塩見浩太郎 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)	塩見浩太郎 (循環器内科)	塩見浩太郎 (循環器内科)	
		金本将司 (循環器内科)	赤川英三 (循環器内科)	赤川英三 (循環器内科)	赤川英三 (循環器内科)	金本将司 (循環器内科)
	腎臓	安藤亮太郎 (腎臓内科)	今井剛 (腎臓内科)	白上巧作 (腎臓内科)	今井剛 (腎臓内科)	白上巧作 (腎臓内科)
	糖尿病・血液	藤田直紀 (糖尿病・血液内科)	村木和彦 (糖尿病・血液内科)	村木和彦 (糖尿病・血液内科)	村木和彦 (糖尿病・血液内科)	藤田直紀 (糖尿病・血液内科)
	消化器	原田稔也 (消化器内科)	石垣賀子 (消化器内科・胆臓)	花田浩 (肝臓内科)	* 輪番制	白石龍 (消化器内科)
呼吸器	* 非常勤医師 (午前9時30分～)	* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午前9時～午後0時)	* 非常勤医師 (午後2時～)	
* 輪番制…4名の消化器医師が交替で診療を行います。						
外科 083-901-6107	1診	小林俊郎 (心臓血管外科)	高橋剛 (消化器・乳腺外科)	郷良秀典 (心臓血管・呼吸器外科)	神保充孝 (呼吸器外科)	高橋剛 (消化器・乳腺外科)
	2診	齋藤 聡 (血管外科)		佐藤正史 (心臓血管・呼吸器外科)		
	【専門外来】○乳 腺 外 来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 齋藤 聡 医師の診察となります。					
泌尿器科 083-901-6120	1診	城 甲 啓 治	大 場 一 生	伊 藤 英 昭	大 場 一 生	伊 藤 英 昭
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	竹 野 研 二	* 非常勤医師	竹 野 研 二	竹 野 研 二	竹 野 研 二
○竹野医師 午前9時～診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始						
脳神経外科 083-901-6109	1診	湧 田 幸 雄	北 原 哲 博	※完全予約制 湧 田 幸 雄		北 原 哲 博
	2診	※完全予約制 * 非常勤医師 (機能神経外科)				
	○北原医師 【受付時間】午前8時30分～10時 ○2診 第1月曜日のみ					
整形外科 083-901-6108 ※完全紹介制	初診	大 中 博 司 (脊椎・外傷)	三 原 修 三 (肩関節・外傷)	井 上 裕 文 (脊椎・外傷)	※完全紹介予約制 岸 本 哲 朗 (脊椎・人工関節)	大 野 晃 靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸 本 哲 朗	大 野 晃 靖	大 中 博 司 (脊椎・外傷)	井 上 裕 文	三 原 修 三
産婦人科 083-901-6122	1診	古 谷 信 三	* 非常勤医師	古 谷 信 三	古 谷 信 三	古 谷 信 三
眼 科 083-901-6123 ※完全紹介予約制	1診	休 診	* 非常勤医師	休 診	* 非常勤医師	休 診
皮 膚 科 083-901-6110 ※完全紹介制	1診	休 診	休 診	* 非常勤医師	休 診	休 診
小 児 科 083-901-6106	1診	* 非常勤医師	休 診	休 診	休 診	休 診

* 印は非常勤医師

医療機関の先生方へ

放射線科	放射線科の診療は完全予約制となっております。CT・MR・RIは直接ご予約できます。CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 〔月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時〕 RI予約 083-901-6154 (※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。)
栄 養 科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。予約受付 (月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177

地域連携室	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。予約受付 (月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357 E-mail: renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子
-------	---

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

●診療開始時間は 午前9時から(曜日等により異なる場合があります)。ただし急患の場合はこの限りではありません。
●都合により代診・休診とさせていただきます場合がありますのでご了承ください。

Life

No.113

済生会山口総合病院広報誌 平成30年2月10日発行

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。



地域医療支援病院/日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 済生会支部
山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会 広報チーム
発行責任者：院長 城 甲 啓 治
〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2018年2月号

気になる頭の症状 -頭痛、めまい、けいれん-

脳神経外科部長 北原 哲博



みなさん、頭の症状で何が気になりますか？今回は病気からではなく、症状からみたお話をします。

《頭痛について》

頭痛の原因は、大きく分けると脳の器質的な問題で起こるもの(二次性頭痛)とそうでないもの(一次性頭痛)があります。まずその鑑別を行うことです。脳の写真(CTやMRI)をとるのは、器質的疾患があるかどうかを調べるためです。脳出血、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫などが画像検査で見つかれば、それに対して治療が必要になります。くも膜下出血は、突然に、今までに経験したことがないような、殴られたような、などと表現される頭痛を認めます。くも膜下出血は命に関わる可能性のある病気なので、そのような頭痛の場合には救急車を呼ぶことをお勧めします。画像検査ではわからないものもたくさんあります。一

次性頭痛の多くは片頭痛もしくは緊張型頭痛です。片頭痛は片方とは限りません。肩こりだからといって緊張型頭痛とも限りません。どんな風に？どのような頭痛が？頻度は？持続時間は？などと患者さんのお話である程度の診断がつく場合も多いのです。

《めまいについて》

めまいを訴える患者さんは約240万人とも言われています。原因も様々でありメニエル病などの耳から来るもの、脳梗塞や脳腫瘍といった脳からくるもの、頸椎病変などからくるもの、血圧、心疾患、自律神経障害など全身状態に由来するものなどがあります。これも画像検査や患者さんの訴えて鑑別を行っていきます。

《けいれんについて》

けいれんは筋肉が不随意に収縮して起こる発作で、原因は脳のこともあります。けいれんがあると初めて見る方は驚きます。そういう時も慌てずに救急車を呼んでください。脳が原因のけいれんには、てんかんがあります。てんかんの有病率は約100人に1人であり珍しくありません。認知症の原因であったり、認知症と間違われることもあります。子供がなるものではなく大人の方もなりえる病気です。薬剤でコントロールできることもありますし、手術で発作が抑えられる方もおられますので、もし気になる方がおられましたら脳神経外科の外来でご相談ください。



▲ 北原医師

理 念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること
6. 他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めること

医療費に関するご相談をお受けしています

当院では、社会福祉法にもとづき、生計困難者に対して、無料または低額の費用で適切な医療を受けていただけるよう支援を行っています。

☎ 相談 医療社会事業室
窓口 TEL 083-901-6268(直通)

済生会山口総合病院
〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表)
FAX 083-921-0714

糖尿病と認知症の危険な関係

西3階病棟看護師 藤本 綾子 (認知症看護認定研修修了)



全国で950万人の糖尿病患者、そして462万人の認知症患者、この2つの病気の中に「危険な関係」があることが分かってきました。近年の研究によると、糖尿病のある人ではそうでない人に比べ、アルツハイマー型認知症や血管性認知症の発症リスクが2~4倍に上昇すると報告されています。

では、なぜ高血糖の状態が続くといけないのでしょうか。

血液中のブドウ糖が増えることで、血液の流れが悪くなってしまい、血管が詰まりやすくなってしまいます。そして、脳に血液を供給している血管が詰まってしまい脳卒中を発症し脳に障害が起こり、血管性認知症の症状が出現します。

アルツハイマー型認知症患者の脳には「老人斑」と呼ばれるシミのようなものがたくさ

んあります。この老人斑には「アミロイドβ」という物質が溜まっています。

糖尿病によりインスリン分解酵素が正常に働かないと、『アミロイドβ』を分解する力が弱くなり、アルツハイマー型認知症になるリスクが高まってしまいます。

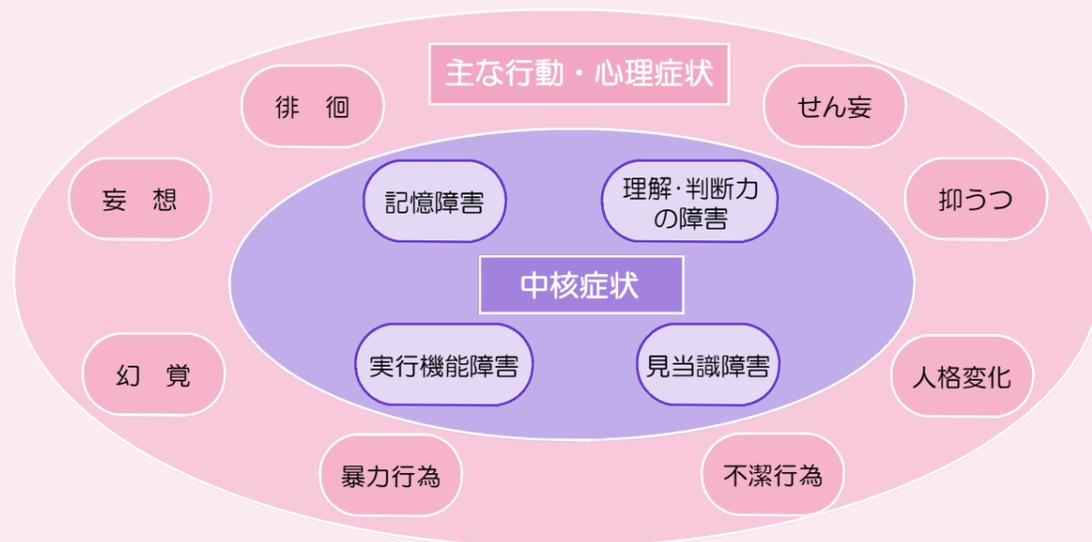
糖尿病も認知症も怖い病気ではありますが、早期発見・早期治療でうまく付き合っていける病気でもあります。発症しないことが一番ですので、まずは、予防活動(2・3日前の出来事を思い出し日記を書いてみる、家計簿をつけるときにレシートを見ないで思い出してつけてみるなど)を生活の中の楽しみの一つとして予防活動を行っていくことが大切です。

■ 認知症の症状

脳は、私たちのあらゆる活動をコントロールしている司令塔です。指令がうまく働かなければ、精神活動も身体活動もスムーズに運ばなくなります。

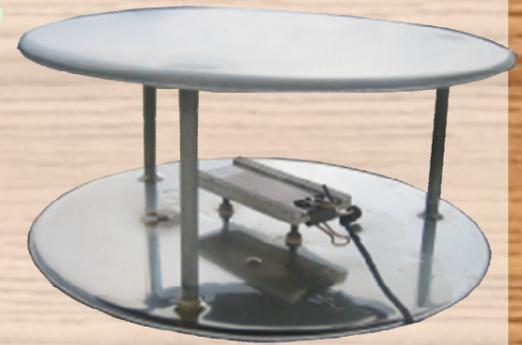
認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態(およそ6ヶ月以上継続)をいいます。

認知症の症状として、「中核症状」と「行動・心理症状」があります。なお、「行動・心理症状」には周囲から見ると、「徘徊」や「妄想」も、本人なりの背景や理由があるとされています。



花粉飛散測定をしています!

臨床検査部 榎山 ちなみ 因



▲ 当院屋上に設置してある『花粉測定器』

当院は【山口県医師会花粉情報システム】の測定機関となっており、毎年1月から4月まで花粉(スギ・ヒノキ)の測定を毎日行っています。当院を含め県内約20施設で測定された花粉情報は医師会事務局で集約・解析され、医師会ホームページ (<http://www.yamaguchi.med.or.jp>) 上で公開されています。

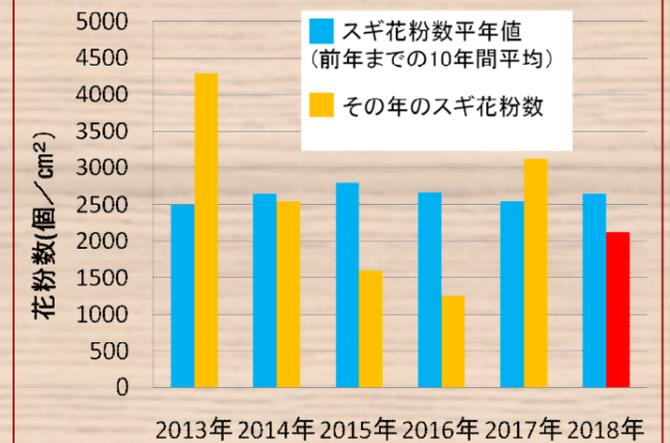
2018年 スギ花粉数予測

昨シーズンは2013年以来の大量飛散となり平年値を上回りました。

昨年秋に実施したスギの木の定点調査(雄花の着花率)によると、今シーズンは、平年値の約85%の花粉総数と予測されます。実際には飛散期の天候に左右されますが、十分な花粉対策が必要と思われます。

平成29年度花粉測定講習会より
提供：一般社団法人山口県医師会

スギ花粉総数【平年値との比較】



化学療法委員会

化学療法委員会は、2ヶ月に1回定期開催し、レジメン(抗がん剤の投与量や投与方法、投与時間などを時系列に記した治療計画書)の審査・承認を行っています。当院で行われているがん化学療法は、学会のガイドライン、海外を含めた論文や臨床試験のデータなどの科学的根拠に基づき有効性や安全性を評価しています。

院内教育として、抗がん剤の取り扱いや副作用などの情報を職員へ周知して、化学療法を受ける患者さんやそれに携わる職員の安全を守り、病院全体の質向上を図るために取り組んでいます。特に社会的な問題となっている「抗がん剤の曝露」や「B型肝炎再活性化」、「血管外漏出」などの対策マニュアルを作成しています。外来化学療法室(外来で抗がん剤治療を行う場所)の運営について、緊急時の体制や待ち時間、必要な資材や人員などの問題点を話し合っています。委員会メンバーは、医師・看護師・薬剤師・医事課事務員など様々な職種が集まり、専門知識を出し合っており、患者さんに安心して安全な治療を受けていただけるよう取り組んでいます。



委員会紹介

敷地内全面禁煙のお知らせ

平成27年8月1日より、喫煙・受動喫煙による健康被害を防ぐために病院敷地内全面禁煙(建物内・駐車場及び車内を含む)を実施しております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。